

会社概要

(2016年3月29日現在)

会社名	メディカル・データ・ビジョン株式会社
証券コード	3902
設立	2003年8月
資本金	9億1,215万円
本社所在地	東京都千代田区神田美土代町7番地 住友不動産神田ビル10階
事業内容	医療情報統合システムの開発、製作、販売、保守業務 各種医療データの分析、調査、コンサルティング業務 医療機関向け経営コンサルティング業務 各種医療データの運用及び提供サービス業務 ポータルサイトの企画、設計、開発、運営 職業安定法に基づく有料職業紹介事業(13-ユ-302515)
従業員数	158名

代表取締役社長	岩崎 博之
取締役副社長	福島 常浩
専務取締役	浅見 修二
取締役	柳澤 卓二
取締役	木村 右子
取締役(社外)	山川 直也
取締役(社外)	香月 壯一
取締役(社外)	藤宮 宏章
常勤監査役(社外)	山田 道雄
監査役	中川 治
監査役(社外)	濱田 清仁

役員

ホームページのご案内

当社では、ホームページにて即時情報開示に努めております。是非ご活用ください。

<http://www.mdv.co.jp/>



スマートフォンで
IRサイトへ



コーポレートサイト



IRサイト



メディカル・データ・ビジョン株式会社

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町7番地 住友不動産神田ビル10階

TEL:03-5283-6911 FAX:03-5283-6811

MDV REPORT

2015年12月期 事業報告書 Vol.2

(2015年1月1日～2015年12月31日)

メディカル・データ・ビジョン株式会社



medical.data.vision

証券コード：3902

MDVの経営理念	01
株主の皆さまへ	02
ビジネスモデルとサービス別業績	03
特集 デジタル健康ソリューションの紹介	05
業績ハイライト	07
Topics	09
株式情報	10
会社概要／ホームページのご案内	裏表紙

MDVの経営理念

私たちが目指すこと

私たちは、医療や健康分野での革新的な活動を通じ、生活者のメリット創出に貢献します。

私たちの使命

私たちは、医療や健康分野のICT化を推進し、情報の高度活用を図ります。

私たちがお約束すること

—医療や健康に関わる全ての皆さまに—

私たちは、皆さまの立場で考え抜き、課題解決を通じてともに発展することを目指します。

—ともに働く仲間たちに—

私たちは、傍観者ではなく全員が主役です。立場を超えた有益な意見交換を歓迎します。

私たちが大切にしたい

「正々堂々」私たちは、いつでも、どこでも、そして誰に対しても「正々堂々」とした企業活動を行います。



MDVの社名とロゴの意味

メディカル・データ・ビジョンという社名には、「豊富な実証データに基づいた医療の実現」という意味が込められています。

ロゴのオレンジは温かみ・活力を、ホワイトは清潔さ・健康を表しています。オレンジの四角が末広がりに広がっていくのは、膨大に蓄積された医療・健康情報を有効活用することで、生活者にとってのメリットが次々と創出されることを表現しています。

医療や健康分野のICT化を推進し、人々の健やかな生活に貢献したいという想いがこのロゴに込められています。

Top Message 株主の皆さまへ

**前期比で増収増益を達成。
当期末時点で1,265万人の診療データベースを構築し、
新サービスを積極的に展開しています。**

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

医療関連業界においては、社会保障と税の一体改革で描かれた2025年の医療・介護の将来像の実現に向け、政府による医療制度改革の舵取りのもとにデータ利活用における様々な議論が進んでいます。さらに、マイナンバー制度施行に伴う医療とマイナンバーの連携が謳われるなど、医療分野におけるデータ利活用の環境は今後も広がる見通しです。

このような事業環境のもと、2015年12月期は、医療データ利活用の更なる促進と中長期成長の基盤構築を図るための「投資フェーズ」と位置付け、既存事業の拡大と新規事業の推進を実施してまいりました。

既存事業については、当社主力製品であるDPC*分析ベンチマークシステム「EVE」が、期末時点累計で768病院への導入、DPC対象病院*における導入シェア45%超を達成したほか、当社診療データベースは、患者数にして1,265万人分と、全日本国民の10分の1に相当する規模に至りました。当社が保有するデータは、今まで把握が困難だった医療現場における薬剤処方の実態を明らかにするエビデンスとして、製薬企業や研究機関をはじめとする多くの皆さまに活用いただいております。新規事業については、患者自身による診療情報の一部保管・閲覧を目的とした病院向けサービス「エースビジョン」をはじめ、経営課題の可視化を図るソリューション「Hospital eye」や、OTC医薬品・H&BC製品*に関する分析サービスなど、様々なサービスを積極的に展開し、推進しています。

*3～4頁の注記をご参照ください。

これらの結果、当期業績は、売上高2,413百万円、営業利益282百万円、経常利益280百万円、当期純利益164百万円となり、前期比で増収増益を達成いたしました。

当社は今後も、「医療データの利活用を促進し、日本の医療・健康分野の革新と患者メリット創出に貢献する」という経営理念のもと、更なる成長と企業価値の向上を目指してまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご指導、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2016年3月吉日



代表取締役社長
岩崎 博之

Our Business

ビジネスモデルとサービス別業績

当社の事業は、医療機関などへのシステム提供を通じて医療・健康情報を蓄積する「**データネットワークサービス**」と、蓄積された情報を活用し、製薬会社などへ各種分析サービスを提供する「**データ利活用サービス**」で構成されています。

データネットワークサービス

システム提供を通じて医療・健康情報を蓄積

主力製品「EVE」
全国のDPC対象病院^(※1)
のうち

45.1%
の病院に
導入^(※2)

1,265万人
(225病院)^(※2)

MDVの
診療データベース規模

データ利活用サービス

蓄積した医療・健康情報を活用し*、
各種分析サービスを提供

*データネットワークサービスで提供いただいたデータのうち、
二次利用許諾をいただいたもののみ利用

製品・サービス

サービス対象者	製品・サービス名称	概要
医療機関	EVE	DPCデータを活用し、自院の診療内容や状況を他院と比較しながら分析できるシステム
	EVE-ASP	他院の実名が公開された診療内容を見ることが出来るサービス ※ただし、自院の実名を公開する場合のみ
	Medical Code	原価管理をはじめとする病院経営全体に関わる事項を分析できるシステム
	エースビジョン	患者が生涯にわたり自分自身の診療情報を管理・閲覧することを目的とした病院向けのデジタル健康ソリューションで、診療記録モジュール、医療情報統合IDカード「CADA」、診療情報保管・閲覧サービス「カルテコ」を付帯

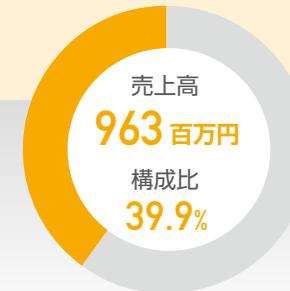
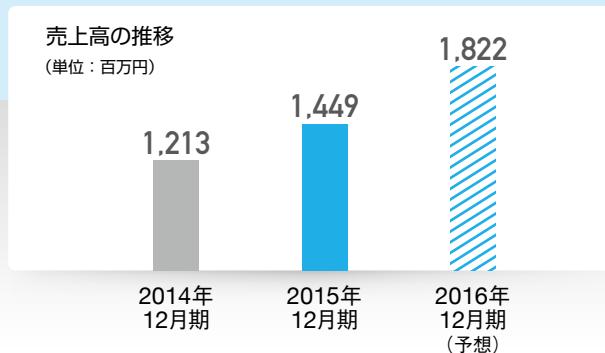
(※1) DPCとは、「[Diagnosis Procedure Combination]」の略称で、従来の出来高払いから、入院時に一部が定額支払いとなる制度のことです。DPC対象病院とは、当該制度を導入している病院を指します。
(※2) 2015年12月末時点。



製品・サービス

サービス対象者	製品・サービス名称	概要
製薬会社・研究機関等	MDV analyzer	急性期医療機関の薬剤処方実態を日単位で分析できるWEB分析システム
	アドホック調査サービス	「MDV analyzer」の分析メニューでは対応できない、製薬会社の個別のニーズに対応する調査サービス
OTC・H&BC関連企業	OTC・H&BC関連の各種サービス ^(※3)	主にOTC・H&BC関連企業に対して、市場の把握やターゲティング・ポジショニングの戦略構築に役立つ各種分析データを提供するサービス
個人	カルテコ	受診した医療機関情報、受診したきっかけとなった症状、傷病名、検査結果、処方薬、処置・手術などを管理・閲覧できる無料のWEBサービス

(※3) OTCとは、「[Over The Counter Drug]」の略称で、医師の処方ではない、薬局・ドラッグストアなどで販売される一般用医薬品の領域を指します。H&BCとは、「[ヘルス&ビューティケア]」の略称で、OTC医薬品を含め、医薬部外品、医療用具や機能性食品、化粧品、ヘアケア、オーラルケアなど、「美と健康を守る」ことを目的とした領域のことを指します。



自分の診療情報の一部を自身で 保管・閲覧できる、デジタル健康 ソリューションの提供を開始

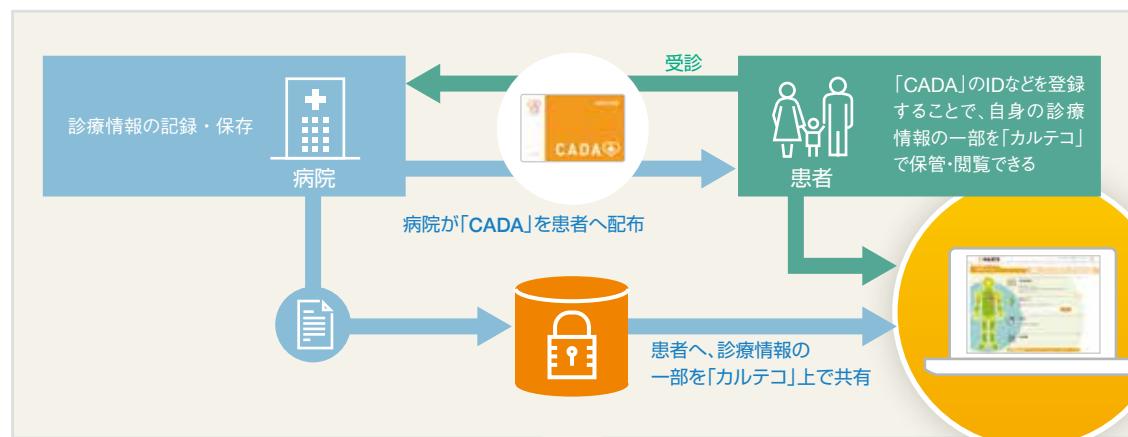
—第1弾として「エースビジョン」をリリース—

当社は、2015年6月、患者が自分自身の診療情報の一部を保管・閲覧することを目的にしたデジタル健康ソリューションの提供を開始いたしました。
今回は、その第1弾としてリリースした「エースビジョン」の概要についてご紹介いたします。

デジタル健康ソリューションとは？

デジタル健康ソリューションは、患者が自分自身の診療情報の一部を保管・閲覧することを目的にした医療機関向けのサービスです。その第1弾としてリリースした「エースビジョン」は、診療記録モジュール、医療情報統合IDカード「CADA」、診療情報保管・閲覧サービス「カルテコ」を付帯したトータルソリューションです。

これにより、当該ソリューションを導入した病院は患者と診療情報の一部を共有できるようになり、当該病院を受診した患者は「カルテコ」を通じて自身の診療情報の一部を保管・閲覧できるようになります。
患者本人から同意を得て蓄積された診療情報は、医療・健康分野の質向上のために有効活用されます。



個人の同意を得て蓄積した診療情報の一部を、医療・健康分野の質向上のために有効活用



進捗状況と今後の計画

2015年6月にリリースされた「エースビジョン」は、福岡県、長野県、岩手県の3病院に導入されています。

今後は、より多くの皆さまに「カルテコ」を利用いただくため、「エースビジョン」をはじめとする各種デジタル健康ソリューションの開発・導入を推進してまいります。

電子カルテ企業との提携

「カルテコ」「CADA」を「CADA-BOX(仮称)」として商品化し、既存電子カルテの付加価値サービスとして提供予定。

「エースビジョン」のバージョンアップ

診断に役立つ各種データを医師が診療中に閲覧できる機能を追加予定。

「CADA」決済事業の実験的スタート

「CADA」を使って患者が医療費を後払いができるクレジットサービスを、一部医療機関で実証実験として開始。(ただし、あくまで実証実験であり業績への影響は軽微)



「カルテコ」画面イメージ



Financial Highlights

業績ハイライト



前期比増収増益。各サービスともに過去最高売上を達成。

投資回収に向けたデータ基盤作り、投資の下支えとなる収益の拡大を図り、前期比で売上高・利益ともに増加。各製品・サービスの売上高もデータネットワークサービスは前期比約20%増、データ活用サービスは約30%増となり、過去最高となりました。

経常利益率は目標である10%を達成。

投資フェーズにおける新規事業立ち上げにより、各種費用が増加するも、既存事業における高利益率の製品・サービス販売が好調に推移し、経常利益率は約12%となり、期初の目標を達成いたしました。

次期業績は、引き続き売上高30%前後の増収、経常利益率10%前後の目標達成を目指す。

2017年12月期以降の投資回収フェーズに向け、引き続き基盤作りと新規サービス等による事業力の強化を図り、収益拡大に努めます。これにより、2016年12月期の業績は売上高3,000百万円、経常利益300百万円を見込んでいます。

財務諸表（要約）（単位：百万円）

貸借対照表

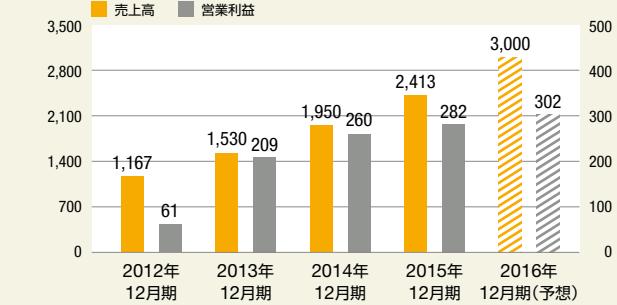
	前期 2014年12月31日現在	当期 2015年12月31日現在
流動資産	2,274	2,416
固定資産	376	497
繰延資産	7	5
資産合計	2,659	2,918
流動負債	361	407
固定負債	25	21
負債合計	387	429
純資産合計	2,271	2,489
負債純資産合計	2,659	2,918

損益計算書

	前期 2014年1月1日から 2014年12月31日まで	当期 2015年1月1日から 2015年12月31日まで
売上高	1,950	2,413
売上総利益	1,565	1,897
営業利益	260	282
経常利益	248	280
税引前当期純利益	244	262
当期純利益	135	164

(単位：百万円)

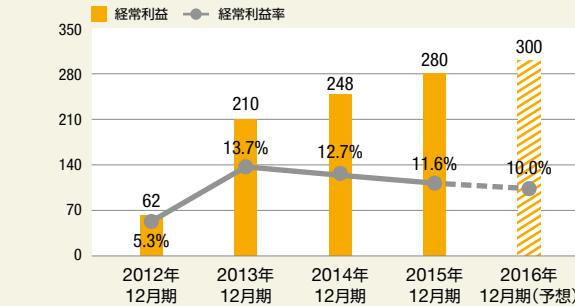
売上高／営業利益



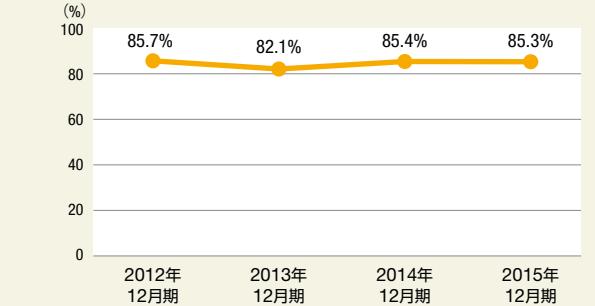
総資産／純資産



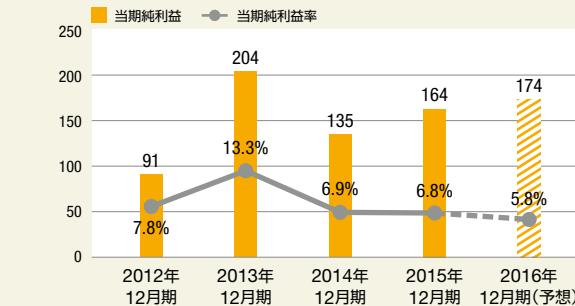
経常利益（経常利益率）



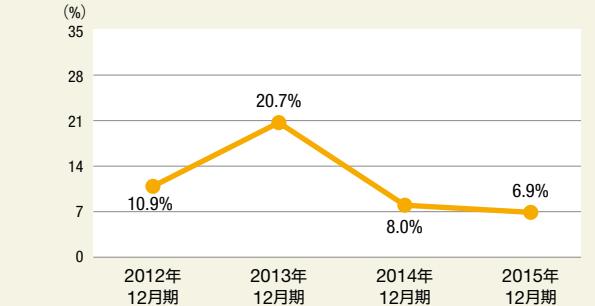
自己資本比率



当期純利益（当期純利益率）



ROE



OTC医薬品・H&BC製品関連の 各種サービスを開始

2015年より、当社が保有する1,200万人超の診療データベースを活用し、OTC医薬品やH&BC製品関連のサービスを開始いたしました。市場の把握やターゲティング・ポジショニングの戦略構築に役立つ各種分析データを提供しています。



非DPC病院に向けた 新製品の販売開始

DPC対象病院でなくても、分析に必要なデータがあれば、複雑な操作なく視覚的に経営課題の把握ができる「Hospital eye」の提供を、2015年11月より開始しました。これにより、データネットワークサービスの対象が大きく広がりました。



Stock Information

株式情報 (2015年12月31日現在)

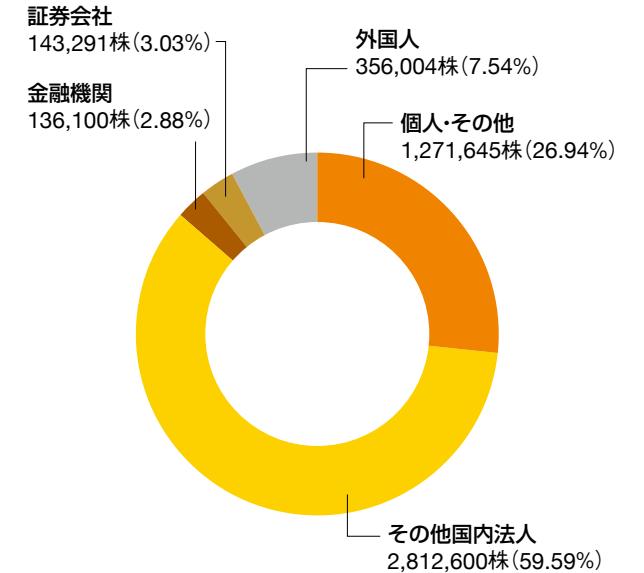
株式の状況

発行済株式の総数	4,719,800株
株主総数	1,324名

大株主の状況

株主名	所有株式数の割合
富士フィルム株式会社	29.91%
株式会社メディパルホールディングス	22.28%
三菱商事株式会社	3.39%
シミックホールディングス株式会社	2.54%
岩崎 博之	2.07%
ゴールドマンサックスインターナショナル	2.06%
浅見 修二	2.03%
NOMURA PB NOMINEES LIMITED A/C CPB30072 482276	1.78%
棚岡 滋	1.43%
第一生命保険株式会社	1.27%

所有者別株式分布状況



※円グラフの数値は小数点以下第3位を切り捨てているため合計が100%にならない場合があります。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日～12月31日
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	12月31日 (そのほか必要がある場合は予め公告いたします)
期末配当金受領 株主確定日	12月31日 (なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は6月30日)
上場証券取引所	東京証券取引所マザーズ市場
単元株式数	100株
公告方式	電子公告により行います。 URL: http://www.mdv.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 受付時間	0120-782-031 (フリーダイヤル) 土・日・祝日を除く9:00～17:00
ホームページ URL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html